

二見を離れる — 常見と断見の偏りをやめる — (四版)

生に執して死に執す
悲しき二見を離るべし

体は死しても 魂 残る

別の体に宿るなり

如何に生きても 仮の宿

命は一度で終りなり

終われば何も残る無し

如何に死しても 慚愧せず

生死は不二と学ぶべし

縁にて生まれ縁に帰す

断悪修善で 生死を証す

この生死は 仏の御いのち

仏のいのちを 修証せん

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文